# 議会運営委員会 行政視察調査報告書

- 1 視察日 2025年8月6日(水)~7日(木)
- 2 視察先 調査事項
- ○広島県三次市
  - ・議会改革の取り組みについて
- ○岡山県真庭市
  - ・議会改革の取り組みについて
- 3 視察者

委員長 浅田 徹 副委員長 田 中 藤一郎 委 員 太田智博 委 員 清水 寬 委 員 芹澤正志 委 員 竹 中 理 員 村 岡 峰 男 委 長 松井正志 議 副議長岡本昭治 議会事務局 坂 本 英津子



三次市議会で説明を聴く委員



三次市議会 議場にて



真庭市議会で説明を聴く委員



真庭市議会 議場にて

# 日 時 2025年8月6日(水) 午後1時30分~午後3時00分 視察先 広島県三次市 調査項目 議会改革の取り組みについて 調査内容 (1) 幅広い年齢層や地域住民との対話の取り組み (2) 多様な広報媒体利用しての取り組み (3) タブレット端末の活用、「議員活動自己検証シート」の取り組み

# 所 感

三次市議会は、議会改革の柱に「広報広聴」を位置付けられ、常任委員会と して多面的に推進されている。

先ず、「議員と話そう(議会報告会・懇談会)」は、平成29年より対面方式からワークショップ方式に変更され、参加者と議員の距離が近くなったことにより、参加者からの発言も多くなり子育て世代の参加者も増加傾向にあるとのこと。今後は、テーマを絞り、地域にあった課題で意見交換を行いたいとのことであった。

次に、「中学生・高校生との交流会」は、議員との交流や意見交換を通して生徒の社会参加や市政への参加を実感させる目的で実施されている。実施の際は、生徒側の議会・市政についての事前学習も行われており、生徒の今後の進路や将来の夢、また三次市をどうしたら住みよくできるか等の三次市の将来についても頼もしい意見が出たとのこと。また、議会や議員に期待する発言もあり、今後も継続したいとのことであった。

次に、「出張型意見交換会」は、市内で開催される各イベントに市議会ブースとして出店し、市政に興味をもっているテーマを「シール投票」により優先度を投票数により把握されたり、会場に掲示した議会の取り組み内容をヒントにした「議会クイズ」を大人向け・子供向けに用意して、ゲーム感覚で答えてもらうことにより行政ニーズや課題の把握と共に議会と市民との距離を縮めることにも努められている。

ケーブルテレビ・インターネットの活用については、三次ケーブルテレビで 放送している「情報ストリート・あっちこっち三次」の「市議会トピックス」 のコーナーに月1回、各委員会からの取り組みを中心に議会活動を生放送で情 報発信されている。議会中継は、本会議をインターネットとケーブルテレビで 中継され、常任委員会は、ケーブルテレビで放映されている。

議会タブレットの活用については、特に災害時は、災害対策本部や被害の状況等を全議員宛に送信されている。

特筆すべきは、議員が選挙時の公約等の達成を自ら検証する「議員活動自己 検証シート」で、議員の活動を可視化する取り組みも行われている。

三次市議会の積極的な取り組みは、本市議会の議会改革を推進する上で、参 考になった。

日 時	2025年8月7日(木) 午後1時30分~午後3時00分
視察先	岡山県真庭市
調査項目	議会改革の取り組みについて
調査内容	(1) 議会活性化に向けた戦略的な取り組み
	(2) 厳格な議会運営と ICT 活用の取り組み
FC F	【業人江州ルアウルを影響的ない。

## 所 感 【議会活性化に向けた戦略的な取り組み】

平成 28 年から議会活性化の取り組みを 15 項目策定し、検証部会を設けて進 捗を管理。現在は 14 項目に絞り込み、「政策提言」「市民参加」「情報公開」を 三本柱として活動している。

#### (1)政策提言

最大の特徴。1年半という長い時間をかけ、常任委員会が調査研究、市民との意見交換を行い、政策提言を練り上げる。その後、議員による政策討論会を経て、全会一致の合意形成がなされたものだけを市長に提言する。これにより提言の重みが増し、市政への反映に繋がっている。

#### (2)市民との対話・参画

要望活動になりがちだった議会報告会を見直し、「ざっくばらんに語ろう」会として開催。また、2年に1度、著名な講師を招いた大規模な「議会講演会」を実施し、700人規模の市民を集めるなど、市民の関心を惹きつけている。高校生との意見交換会も継続している。

#### (3)情報発信·公開

議会ホームページや Facebook を積極的に活用。特にケーブルテレビと YouTube で配信する「議会ヘッドライン」では、新人議員も含め議員自らが 議会の活動方針や内容を市民に直接語りかけている。

#### 【厳格な議会運営と ICT 活用の取り組み】

#### (1)委員会主義

会派ではなく委員会を中心に議論を行うことを徹底。

#### (2)政務活動費

月額3万円。平成29年から議員側の発議で領収書のインターネット公開に踏み切るなど、高い透明性を確保。

### (3)タブレット端末

導入により年間 164 万円以上の経費削減を実現。傍聴者への貸し出しも行い、情報共有を徹底。「見ていないは通用しない」という意識改革にも繋がっている。

合併以来、先進的な議会改革を継続している真庭市議会を視察し、特に議会主導の政策提言のプロセスや、戦略的な情報発信等の取り組みはとても参考となった。本市議会の活性化に繋げていきたい。